

より楽しく射つために

アーチェリーの矢のスピードは、弓の強さにもよりますが、時速 200～230km ぐらいになります。

その衝撃力は、圧さ 5 ミリの鉄板を射ち抜くほどです。

アーチェリーは紳士淑女のスポーツ。安全のためのマナーを守って楽しみましょう!

安全マナー

- どのような場合でも、人に向かって弓を引かない。
- 射つ人の前方、または前側に立たない。
- ターゲット付近に人がいないことを確認して、発射する。
- 他の人が射っている時は、決してターゲットに近づいてはならない。
- 空に向かって射たない。
- 自分の身体に合った強さの弓を引くこと。
- 自分のドロウレングスより、短い矢を引いてはならない。
- 矢がアローレストから落ちたら、引き直す。
- 弓を引き戻すときは、的にサイトを合わせて戻す(弓を上に向けて、又は下に向けて引き戻さない。特にコンパウンドの場合)。
- 他の人が射っている間は静かにする。
- 身体にピッタリ合った(だぶつかない)服装をする。
- スtring が、ボタンや衣服に引っかからないように準備する(チェストガード利用)。
- プレーの前には、しっかりと弓具の点検をする。
- 矢を抜くときには、後ろに人がいないことを確認して行う。
- 許可なく、他の人の弓に触れたり引いたりしてはいけない。
- 矢を探すときは、後続のグループにわかるように、ターゲット前に弓を立てておく(フィールドの場合)。

事故防止に向けて

アーチェリーを楽しく安全にプレーするために絶対に守ってもらいたいマナー

- 安全が確保出来る環境以外では、絶対に弓を引かない。
- 必ず的に向かって、水平に引き分けて下さい。引き戻す際も、そのまま的に向かって戻して下さい(3 ライン内に向かったの引き戻しは禁止します)。
- 矢が的に逸れたら、その原因が分かるまで次の射は止めましょう。また、紛失した矢を確認してから次の射を行なうようにして下さい。
- 試合中に弓具故障が発生したら、まず審判員にアピールして下さい。故障した弓具・リリース等は試合中に調整せず、すぐに予備に交換して下さい。
- 飲酒は控えてください。(練習、調整中でも誤射の恐れがあります)
- 指導者・施設管理者等は、危険な行射、またはその恐れのあるアーチャーには、その場で注意、指導をして下さい。アーチャーは、第三者からの助言に素直に従いましょう。
- 安全確保の基本は、自分の体力でコントロールできる強さの弓具を使用することです。無理せず、無駄なくアーチェリーを楽しみましょう。

安全確保はアーチャー全員が守るべき最大のマナー・義務です

2009 年 4 月 16 日

社団法人 全日本アーチェリー連盟